

大阪府病院協会 創立70周年
大阪府私立病院協会 創立50周年
合同記念式典・記念講演・祝賀会

日 時 令和6年5月15日(水)

記念式典 午後4時より

記念講演会 午後5時より

祝賀会 午後6時より

会 場 リーガロイヤルホテル

創立記念式典を合同で開催し 更なる発展と連携を期する

大阪府病院協会と大阪府私立病院協会

大阪府病院協会の創立70周年、大阪府私立病院協会の創立50周年を合同で祝う記念式典、記念講演会、祝賀会が5月15日夕刻、大阪市北区中之島のリーガロイヤルホテルで開催され、270名が出席した。

創立記念式典では、主催者を代表して両会の会長・副会長・名誉会長が登壇した。また、ご来賓として、近畿厚生局長の得津 馨様、大阪府知事代理の副知事の渡邊繁樹様、大阪市長代理の副市長の山本剛史様、日本医師会会長の松本吉郎様、大阪府医師会会長の高井康之様、日本病院会会長の相澤孝夫様、そして出席された近畿病院団体連合会の会長にご登壇いただいた。

■ 主催者代表あいさつ



大阪府病院協会 木野 昌也 会長

大阪府病院協会は昭和30年、1955年に設立されました。正確に申し上げますと、来年2025年に70周年を迎えることになります。本日ここに大阪府病院協会と大阪府私立病院協会が、合同で創立記念式典を開催させていただきましたのは、新たな時代に向けて、大阪府の医療・健康・福祉の更なる増進を図るためには、大阪府病院協会と大阪府私立病院協会が共に手を携えて、一致協力して様々な課題に取り組んでいく必要があるからです。

我々病院がこれまでに歩んできた道は、決して平坦なものではありませんでした。しかし厳しい経営環境の中にあっても、大阪府下の病院は見事にこれまでの難局を克服し、地域医療の発展に貢献して参りました。両協会の歴代の会長、副会長、役員をはじめ会員病院の皆様の日々のご活躍に敬意を表したいと思います。そして大阪の病院がその責任を立派に果たすことができるよう、様々な面でご支援、ご指導いただきました関係諸団体の皆様には改めて感謝いたします。本当にありがとうございます。これからも引き続き、より一層のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。本日は限られた時間ではありますが、両協会の創立を記念し皆様と共に祝いたいと思います。本日はご参列いただきまして誠にありがとうございます。



大阪府私立病院協会 生野 弘道 会長

当協会は、大阪府病院協会、大阪府医師会から、“我が子”のように育てていただきました。また、大阪や近畿一円の多くの関係諸団体の仲間に入れていただきました。さらに、日本医師会、日本病院会など中央の関係諸団体にも参加できるようになり、多くのことを学びました。

近年、大阪府の暖かいご指導を受け、府民のための医療提供体制の一翼を担わさせていただくようになりました。

特に、新型コロナウイルスとの闘いでは、当協会も力一杯闘いましたが、その努力が認められ、50周年式典に際し、大阪府から感謝状をいただくことになり、大変うれしく思っています。ありがとうございました。

このように、多くの関係団体の皆様や、本日ご列席いただきましたご来賓の方々にご理解とご支援をいただき、当協会は大きく成長することができました。これまでのご支援、心から御礼を申し上げます。

最近、私立病院だけでなく、あらゆる医療機関にも、単なる不況とは異なる、“大きな波”が押し寄せています。その波と闘いながら、私どもも新たな一步を踏み出さねばなりません。この50周年を「第二の創立」と考え、初心に帰って事に当たっていきたいと思います。これから、私立病院協会は、大阪府病院協会と更に連携を深め、大阪府医師会を中心とした“オール大阪”の一員として、大阪府民のため、地域医療活動に全力を注ぎ、さらなる躍進を遂げたいと願っています。

■ ご来賓のご祝辞



近畿厚生局長 得津 馨 氏

大阪府病院協会が設立された昭和30年は、まだ医療保険制度の適用者が総人口の3割であったなど、医療を受ける環境が現在とは違う課題が山積した時代でありました。また、大阪府私立病院協会が設立された昭和49年は、老人医療費の無料化や医療保険の家族給付率が5割から7割に移行するなどが行われた時代で、大きく医療ニーズも増加する時代であったと考えております。

両協会が設立された時代背景は異なりますが、その時々々の医療課題を踏まえつつ、会員病院が一致協力して病院の資質の向上発展を進め、社会の福祉増進を目的としていることは共通であり、長年この目的に則って役割を果たされてきたことは行政の立場としても大変意義深いものと受け止めています。

時代も昭和から平成、そして令和へと進み、その間も医療を取り巻く環境は変化し、また先般の新型コロナウイルス感染症のような健康危機事象など予期せぬこともありました。しかしながら、様々な課題に両協会、そして各病院が一致協力して乗り越えられてきて、今日を迎えられていると考えております。

国内外の社会情勢や経済情勢なども考えますと、医療を取り巻く環境も厳しさを増してくるものと容易に想像できますが、両協会及び会員病院皆様方は幾多の困難をも乗り越えられて来ております。これからも確実に乗り越えていけるものと信じております。そして厳しい環境の中でも協会としての役割を果たされ、ひいては大阪府民の健康の保持増進に、末永く寄与するものと期待しております。



大阪府知事 吉村 洋文 氏 (渡邊繁樹・副知事代読)

大阪府病院協会創立70周年、大阪府私立病院協会創立50周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。これまでの活動を支えてこられた木野昌也会長、生野弘道会長をはじめ、歴代の会長、役員、会員の皆様の熱意とたゆまぬご努力に深く敬意を表します。

大阪府病院協会は、国公立・公的・民間の病院が一体となり、病院の資質の向上発展及びその使命遂行に関する事業を行い、社会の福祉増進に寄与するなど、医療活動の充実と地域医療の質向上にご尽力されてきました。また、大阪府私立病院協会は、大阪では民間病院が約9割を占める中、各病院の自立した経営支援や医療従事者の勤務環境の改善への取り組み支援による安全で質の高い医療の提供に、ご貢献されてきました。この間の両団体の、大阪府の健康医療・福祉行政の推進への格別のご理解、ご協力に、改めて厚くお礼申し上げます。

近年では、4年以上にわたる新型コロナウイルス感染症への対応において、府民の命を守るため、一丸となって大阪の医療を支えていただきました。大阪府といたしましては、これらの経験を踏まえ、昨年度末に策定した第8次大阪府医療計画、大阪府感染症予防計画に基づき、平時より新興感染症の発生・まん延時や災害時など有事に備えた医療体制の構築を図ることとしております。計画策定にあたり、審議会等においてご意見ご議論をいただき、ありがとうございました。

また、いよいよ、「2025年大阪・関西万博」の開催まで1年を切りました。安心で安全な万博の開催に向けまして、救急医療体制の構築や外国人患者の受入等について、万全を期すべく準備を進めております。

これら取組の推進に向けまして、今後とも大阪府病院協会、大阪府私立病院協会の皆様のより一層のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



大阪市長 横山 英幸 氏 (山本剛史・副市長代読)

大阪府病院協会創立70周年並びに大阪府私立病院協会創立50周年の記念式典が盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。また、木野会長、生野会長をはじめ、両協会の皆様方には、平素から市民の健康をお守りいただくとともに保健衛生行政をはじめ大阪市政の各般にわたり格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症対策におきましては、診療から検査、入院患者の受け入れ、インフルエンザとの同時流行に備えた臨時発熱外来の開設など、皆様には多岐にわたり、ひとかたならぬご尽力をいただき、深く敬意を表する次第であります。今日、高齢化がますます加速していく中で、保健・医療の充実と向上に、両協会の果たされる役割は極めて大きなものがあり、引き続き社会福祉の増進にご貢献くださいますよう期待申し上げます。

さて、来年には「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、大阪・関西万博が開幕します。大阪市としましても、地元自治体として大阪が世界に貢献する姿を示し、その強みや魅力等を全世界に発信するため、大阪ヘルスケアパビリオンの出展に向けた準備を進めております。また、万博のインパクトを最大限に活かし、大阪の持続的な成長につながる取組を進めてまいります。暮らしを守る医療・福祉の向上、子育てや教育環境の充実など、市民サービスの拡充を追求し、一人ひとりが多様な幸せを実感でき、誰もが安心していつまでも住み続けたいと思う「にぎやかで活気あふれるまち大阪」の実現をめざしてまいりますので、引き続き皆様方のご理解、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



日本医師会会長 松本 吉郎 先生

大阪府病院協会におかれましては、創立70周年、大阪府私立病院協会におかれましては、創立50周年をお迎えになったとのこと、改めてお祝い申し上げます。それぞれの団体が、お互いに協力し合い、また、地元の各医師会とも手を取り合って大阪府の病院医療を先導してくださっていることに改めて御礼申し上げます。

過去を振り返ってみますと、70年前の1955年は、戦後の荒廃から立ち直り、全国の病院数が5,000を上回る状況でございました。大阪府病院協会におかれましては、戦後の大阪府における病院医療の礎を築き、現在の発展した姿にまでご尽力くださったことと存じます。今後も新たな地域医療構想に向けてご指導頂きたく考えております。

また、50年前の1974年はいわゆる第一次オイルショックのまただ中でございました。現在も物価高で苦しんでいますが、それを大きく凌ぐ「狂乱物価」ともいわれるほどの経済状況にあったため、当時の日本医師会長の武見太郎先生が奔走し、診療報酬引き上げとするなどの辣腕を発揮された時代であり、医療界も非常に混沌とした状況に見舞われておりました。そのような中で大阪府私立病院協会が創立され、私立病院ならではの課題について、大阪府内の各種団体と一緒に半世紀の長きにわたり取り組んでくださっていただきました。大阪府では私立病院が大きな役割を果たしていることは、大阪府の様々な先生方から教えていただいております、引き続き、その重要な役割を果たしていただけたらと考えております。

振り返って、2020年からのコロナ禍をはじめとして、医療をめぐる様々な困難がございましたが、それぞれの団体の会員の皆様方がお力を発揮され、乗り越えることができたことに改めての御礼を申し上げます。

しかしながら、コロナ禍をなんとか乗り越えましたが、目の前には医師の働き方改革や地域偏在の課題があり、近年まれに見る物価上昇や人件費上昇の荒波に揉まれております。日本医師会は、大阪府医師会や病院団体のみならずとともに、医療界として一致団結して、この荒波を乗り切るための取り組みを着実に進めてまいりたいと考えています。皆様におかれましては、引き続き深いご理解と格段のご支援を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



大阪府医師会会長 高井 康之 先生

大阪府病院協会が70周年、大阪府私立病院協会が50周年をお迎えになり、心よりお喜び申し上げます。

今年は元日から能登半島で大きな地震があり、日本医師会から直ちにJMATの派遣要請がありました。JMATを能登に派遣することについては、間断なく4月末まで派遣できたのは会員のみならず、病院協会の先生方のご協力があったことであると感謝しております。また支援金に関しましても、各種団体、医療機関の皆様から1900万円を超える額が振り込まれ日本医師会にお送りしたところであります。

病院団体と大阪府医師会は、歴史的にも非常に緊密な関係を持っており、関係は極めて良好でございます。年に1回、大阪府病院協会、大阪府私立病院協会の役員の先生方と大阪府医師会役員がテーマを決めて様々な意見交換を行っています。コロナ禍という非常に大変な状況におきましても、病院協会と医師会が協力したことで対応できたと思います。また、大阪府医師会には委員会がございますが、病院協会の先生方に委員会に参画いただき、ご意見を賜っているところでございます。先日今岡先生に委員長をお願いしている病院委員会では、外来医療計画について提言をいただきました。外来受診重点医療機関などについて様々なご意見をいただき、これがうまく機能して診療所のかかりつけ医と高度の医療機能を持つ医療機関が連携して、必要な方に適切な医療が提供されるように、発展していければと思っております。

さて、診療報酬に関しましては、昨年末にプラス0.88%という近年にない診療報酬のアップが、日本医師会の松本会長はじめ、中央の病院団体、医療団体が一致協力した結果でもたらされました。これが医療従事者の給与のアップに繋がれば大変喜ばしいことと思います。しかしながら、診療所にとっては、生活習慣病に関しては非常に厳しい点もありますし、病院に関しても、これからどのような影響が出てくるのか、中医協委員にはもう少し頑張っていたら良かったと思っています。

これからも病院協会と大阪府医師会は、手を携えて協力して大阪府民の健康増進に力を合わせていきたいと思っております。木野会長、生野会長はじめ、両病院団体の先生方との連携を密にするとともに、両会のますますのご発展を祈念して、大阪府医師会としてのお祝いの言葉とさせていただきます。

大阪府知事からの表彰状が大阪府私立病院協会と下記9名の役員に贈られました。

❖ 団体の部

一般社団法人大阪府私立病院協会

❖ 個人の部

大阪府病院協会 名誉会長

八尾市立病院 特命総長

佐々木 洋 先生

大阪府病院協会 副会長

社会医療法人山紀会 山本第三病院 理事長

山本時彦 先生

大阪府病院協会 理事

社会医療法人美杉会 佐藤病院 院長

河合泰博 先生

大阪府病院協会 理事

医療法人りんどう会 向山病院 理事長

多田正知 先生

大阪府病院協会 理事

社会医療法人生長会 理事長

亀山雅男 先生

大阪府私立病院協会 常任理事

社会医療法人寿楽会 大野記念病院 理事長

大野良興 先生

大阪府私立病院協会 常任理事

公益財団法人浅香山病院 理事長

高橋 明 先生

大阪府私立病院協会 常任理事

特定医療法人新仁会 新仁会病院 理事長

鹿島洋一 先生

大阪府私立病院協会 常任理事

社会医療法人ONE FLAG おおさかグローバル整形外科病院 理事長

牧 恭彦 先生



団体の部 大阪府私立病院協会



個人の部 佐々木 洋 先生

第2部 記念講演会

テーマ「古代エジプトの不病、不老、ピラミッド」

講師：名古屋大学国際高等研究機構 高等研究院
准教授 河江肖剰 先生

座長：創立記念事業実行委員長 大道道大先生



講師 河江先生

講師の河江先生は、3D計測技術とドローンを用いて、これまで謎であったエジプトのギザの大ピラミッドの建造方法の調査に取り組み、4,500年前に起きた出来事を解明しようとされており、多くのテレビ番組に出演するなど、エジプト文明についての知見を広めている。講演では、古代エジプトにも医者（歯医者）の存在が確認されており、どのような病気があったのか、病気になったときにどのように治していたのか、しかも不老、長生きすることが求められ、永遠の生命のために古代エジプトの象徴としてのピラミッドが建造されたとして、ミステリアスな興味深い解説が展開された。



第3部 記念祝賀会

開会挨拶：創立記念事業実行委員長 大道道大 先生

お祝いスピーチ

衆議院議員 伊佐進一 先生

参議院議員 松川るい 先生（メッセージ代読）

参議院議員 梅村 聡 先生

日本病院会会長 相澤孝夫 先生



実行委員長 大道先生



衆議院議員 伊佐先生



参議院議員 梅村先生



日本病院会 相澤会長

日本病院会の相澤会長は、私は長く日本病院会の会長をつとめているが、大阪府の先生には驚かされることばかりであるとし、そのエピソードが紹介された。例えば、診療報酬改定が実施されると、病院は対応を変えなければならないケースがあるが、最も早く行動するのが大阪府の病院である。東日本の病院は対応が遅く、石橋をたたいても渡らないことが多い。大阪府がやっているから、あとで行くというケースである。この素早い行動には、いつも驚いている。日本病院会でも、大阪府の先生に相談すれば道が開けるということである。医療と介護の総合展（メディカルジャパン）の催しも東京と大阪で開催しているが、大阪の第1回開会式に出席したところ、大阪府知事、大阪市長はもとより関西の経済界の代表も出席されていたことに大変驚かされた。大阪府のように、みんなと仲良くすれば日本の医療も良くなる。切磋琢磨しながらみんなで進んでいくことが重要である。大阪府の病院協会が70年、50年と続いてきた秘訣はそこにあると考えている。これからも日本病院会と仲良く、切磋琢磨しながら日本の病院を良い方向に引っ張っていききたいので、ご協力をお願いしたい。両協会が今後ますます発展し、加えて会員病院が繁栄し発展するよう祈念いたします。

乾 杯

日本医療法人協会会長 加納繁照 先生



大阪府病院協会創立70周年、大阪府私立病院協会創立50周年、誠におめでとうございます。

大阪の病院団体は公私に関係なくまとまり、大阪府医師会とも仲良くさせていただいています。このようになったのは先達の先生方のご努力のお蔭であり、深く感謝申し上げる次第でございます。昭和37年には、現在の四病協の一つである全日本病院協会が大阪で生まれ、平成17年には社会医療法人協議会が発足しています。その意味で大阪府は病院団体のメッカ、聖地とも言えるところです。今後ともエネルギッシュな大阪において、相澤会長のご挨拶にもあったように、素早い行動を取る大阪の病院団体が一つになって、オール大阪で活躍し、ひいては日本のあるべき医療を牽引していきたいと考えています。皆様方のご協力とご支援をお願いします。

大阪府病院協会と大阪府私立病院協会のますますの発展を祈念して高らかに杯を上げました。

アトラクション

OSK日本歌劇団のスペシャルショー

華やかでエネルギッシュな、名物のラインダンスをはじめ、朝ドラ「ブギウギ」に因んだ楽曲と踊りが約20分間にわたり行われた。

中締めのご挨拶

大阪府病院協会副会長 宮本裕治 先生



多くの皆様に式典・祝賀会にご参加いただいたことにお礼のご挨拶を述べるとともに、今後の更なる発展を祈念して一本絞めを行ない、閉会となった。

一般社団法人 大阪府病院協会 創立70周年 合同記念式典
一般社団法人 大阪府私立病院協会 創立50周年



記念式典



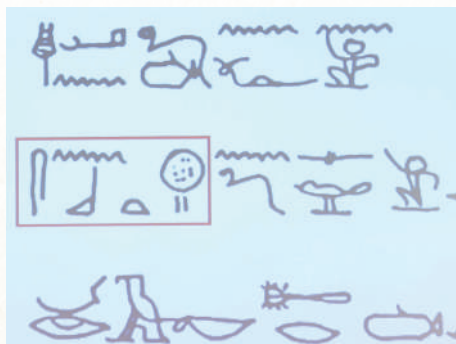
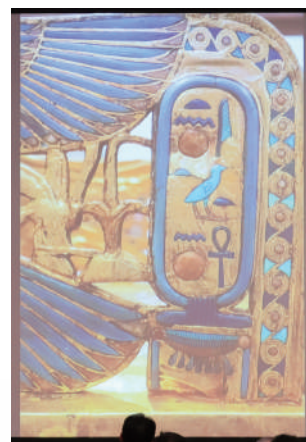
主催者



ご来賓



記念講演



祝賀会







■OSKスペシャルショー



■ 中締め

